

飯豊町水道事業における放射性物質の測定について

飯豊町では、各水道施設の浄水及び小白川浄水場から発生する浄水発生土について、放射性物質の測定を実施しています。

浄水における放射性物質【単位：Bq / Kg(ベクレル / キログラム)】

採取箇所	小白川浄水場		萩生第2配水池	
	放射性ヨウ素	放射性セシウム	放射性ヨウ素	放射性セシウム
採取日				
7月14日	不検出	不検出		
7月15日			不検出	不検出

放射性セシウムは、セシウム 134とセシウム-137の合計値です。

測定機関 日本水道協会 山形支部

水道水については、放射性物質が検出されておりませんので、安心して飲用等にご利用下さい。

浄水発生土における放射性物質【単位：Bq / Kg(ベクレル / キログラム)】

採取箇所	小白川浄水場	
	放射性ヨウ素	放射性セシウム
採取日		
7月14日	不検出	63

放射性セシウムは、セシウム 134とセシウム-137の合計値です。

測定機関 山形大学

放射性セシウムが検出されましたが、クリアランスレベル(100Bq/kg)以下であり、再利用しても問題のない値です。

浄水処理の過程で発生する浄水発生土については、場内に一時保管し、適正に搬出処分しています。

今後の対応について

放射性物質の測定は今後も継続し、結果については町ホームページで公表します。

浄水発生土の処分については、『放射性物質が検出された上下水処理等副次産物の当面の取扱いに関する考え方』を参考に対応します。